

※利用者様は部品の交換は行わず、部品の購入・交換については製品をお求めになった販売店にご相談ください。

歩行車 トライリンク 部品交換マニュアル



この部品交換マニュアルは必ずお読みいただき、大切に保管してください

この部品交換マニュアルを必ずよくお読みいただき、十分ご理解の上、マニュアルに沿って作業を進めてください。

なお、誤った交換などによるトラブルなどについては弊社は一切保証いたしかねます。

※ 部品交換後は該当部の確認をメンテナンスガイドに従って必ず行ってください。

もくじ

必要工具

- 六角レンチ : 5 mm × 2本
- ソケットレンチ : 8mm
- : 13mm
- スパナ : 8mm
- プラスドライバー : 2番
- マイナスドライバー
- プラスチックハンマー
- 当て布

部品リスト

1~2

①各部の交換方法

3~19

- 1. バッグの交換方法 3
- 2. 姿勢保持ベルトの交換方法 3~4
- 3. 座部の交換方法 4~5
- 4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法 6~14
- 5. 反射板の交換方法 14
- 6. タイヤ部の交換方法 15~18
- 7. 杖ホルダー部の交換方法 18~19
- 8. 高さ調節ノブボルトの交換方法 19

②交換後の点検

20

③ブレーキの調整

20

④シールの貼付位置

21

⑤フレームの補修方法

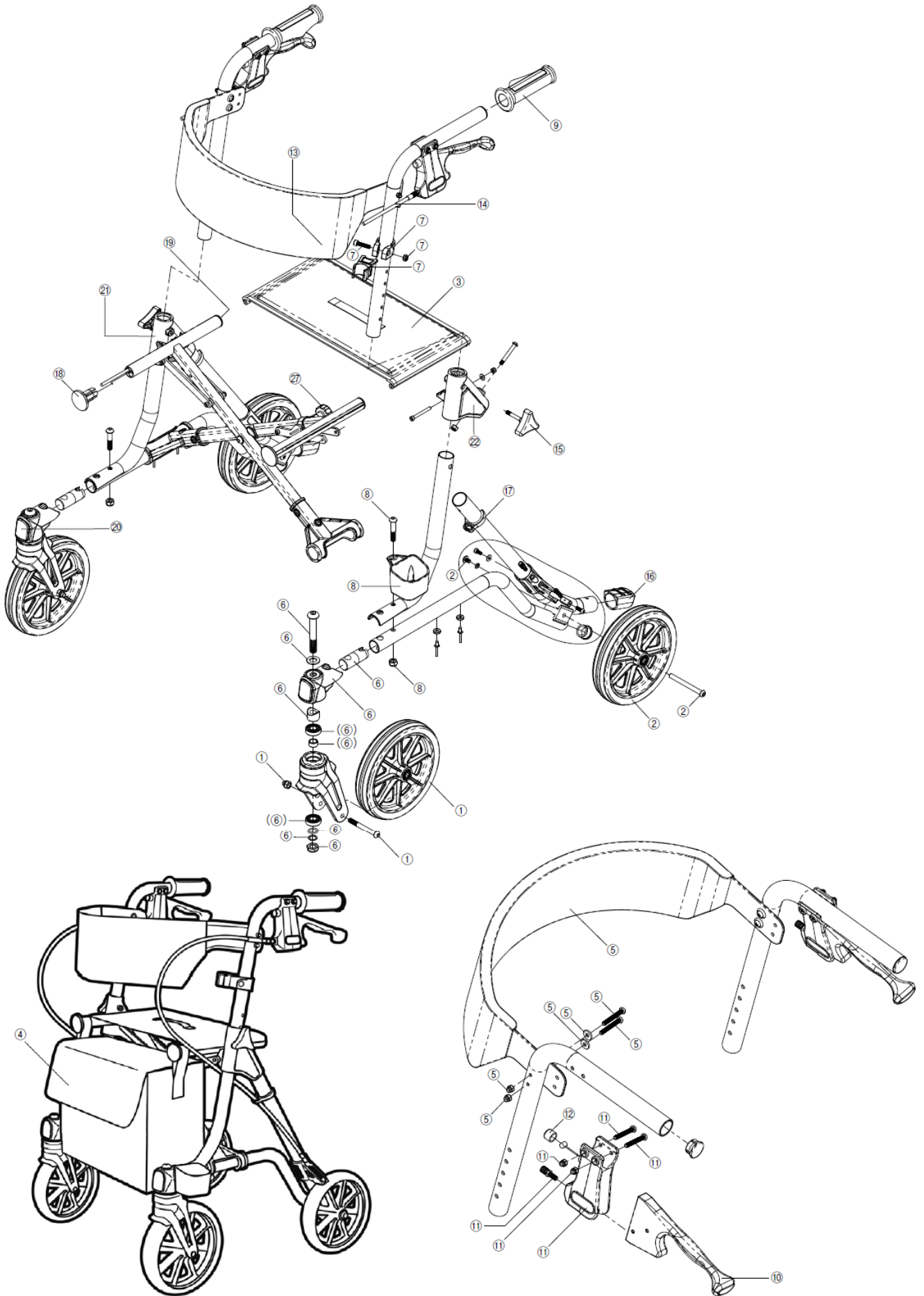
21

注意事項

22



部品リスト



部品リスト

2020年10月現在

No.	部品名	部品コード	価格（税抜き）	備考
1	前輪セット（前輪、前輪固定ボルト、前輪固定ナット）	592140	3,100円	
2	後輪セット（後輪、後輪固定ボルト（短）後輪固定ボルト（長））	592141	3,100円	
3	座面	592142	4,300円	
4	バッグ	592143	5,800円	
5	姿勢保持ベルトセット （姿勢保持ベルト、姿勢保持ベルト固定用ボルト×4、 姿勢保持ベルト固定用ワッシャー×4、姿勢保持ベルト 固定用ナット×4）	592144	4,300円	
6	前輪フォークセット （前輪フォーク、前輪フォーク基部、前輪フォーク固定 用ボルト、ワッシャー×2、前輪フォーク固定用ナット、 Oリング、スペーサー、芯材）	592145	2,600円	
7	杖固定具セット（杖固定具、杖固定具基部、杖固定具 固定ボルト、杖固定具固定ナット）	592146	1,500円	
8	杖ホルダーセット （杖ホルダー、杖ホルダー固定用ボルト、杖ホルダー固 定用ナット）	592147	2,100円	
9	ハンドルグリップ	592148	2,000円	
10	ブレーキレバーセット（ブレーキレバー、金属軸×2、 滑車×2）	592149	2,200円	
11	ブレーキ基部セット （ブレーキ基部、ブレーキ基部固定ボルト×2、ブレー キ基部固定ナット×2、ブレーキワイヤー固定ボルト、 ブレーキワイヤー固定ナット）	592150	3,200円	
12	ブレーキ基部キャップ	592151	1,300円	
13	ブレーキワイヤー	592152	1,400円	
14	ブレーキワイヤーアウターチューブ	592153	1,400円	
15	高さ調節ノブボルト	592154	1,400円	
16	フレームエンドキャップ	592155	1,400円	
17	ブレーキワイヤーガイド	592156	1,300円	
18	シートパイプ端部キャップ（前）	592157	1,300円	
19	シートパイプ端部キャップ（後）	592158	1,300円	
20	反射板（前）	592159	1,300円	
21	反射板（右）	592160	1,300円	
22	反射板（左）	592161	1,300円	
23	ブレーキ操作シール 10枚入り	592162	1,500円	※
24	指はさみ注意シール 10枚入り	592163	1,500円	※
25	補修用ペイント（スプレー）300ml	592164	10,500円	※
26	ブレーキ基部固定ナット4個セット	592193	1,300円	※
27	折りたたみ防止ロック	592079	1,600円	

※「備考」欄に※印がある部品は図示していません。

※価格は予告なく変更する場合があります。最新の価格につきましては、弊社総合カタログをご参照ください。

①各部の交換方法

1. バッグの交換方法

1) バッグ固定部のベルトをシートパイプから抜いて取りはずします。



シートパイプ

バッグ固定部のベルト

2) 新しいバッグを逆の手順で取り付けます。

交換部品: 4. バッグ

2. 姿勢保持ベルトの交換方法

1) プラスドライバーと8mmのソケットレンチを使って姿勢保持ベルト固定ボルト、姿勢保持ベルト固定ナット、ワッシャーを左右とも外し、ハンドルポストから姿勢保持ベルトを取りはずします。



ハンドルポスト

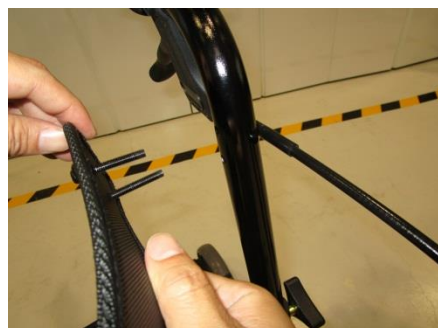
姿勢保持ベルト固定ナット

姿勢保持ベルト固定ボルト

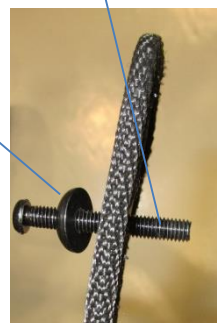
プラスドライバー2番
ソケットレンチ8mm

ワッシャー

姿勢保持ベルト



ワッシャー

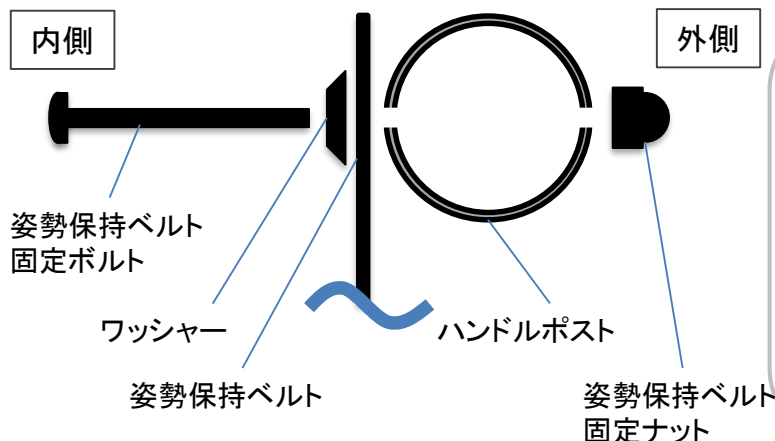


①各部の交換方法

2. 姿勢保持ベルトの交換方法

2) 逆の手順で新しい姿勢保持ベルトを取りつけます。

※取付時の各 부품の順番



交換部品: 5. 姿勢保持ベルトセット



■各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

3. 座部の交換方法

A. 座面の交換方法

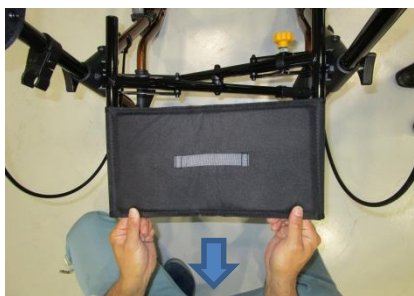
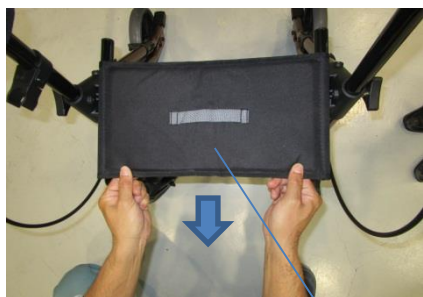
1) シートパイプを傷つけないよう当て布などを巻き、シートパイプ端部キャップ(前)を左右ともプラスチックハンマーでたたいて引き抜きます。



プラスチックハンマー
当て布

シートパイプ
端部キャップ(前)

2) 座面を前方に向かって引き抜きます。



座面

①各部の交換方法

3. 座部の交換方法

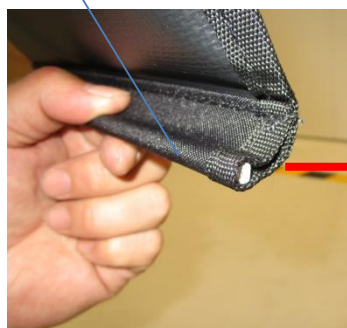
3) 逆の手順で新しい座面、シートパイプ端部キャップ(前)を取りつけます。



※座面取付時には座面の芯材をシートパイプのレールに通してください。
通しにくい時は本体を軽く折り畳んでください。

座面の芯材

シートパイプのレール



交換部品: 3. 座面



交換部品: 18.
シートパイプ端部キャップ(前)



■折りたたみ動作がスムーズに行えることを確認してください。

B. シートパイプ端部キャップ(後)の交換方法

1) マイナスドライバーを使用し、シートパイプ端部キャップ(後)を引き抜きます。



シートパイプ端部キャップ(後)

マイナスドライバー

2) 新しいシートパイプ端部キャップ(後)を挿しこみます。

交換部品: 18.
シートパイプ端部キャップ(後)



①各部の交換方法

4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法

A. ハンドルグリップの交換方法

1) ハンドルグリップを引き抜きます。



※引き抜きの場合は、ドライヤーなどで温めると引き抜きやすくなります。

2) 新しいハンドルグリップを挿しこみます。

※ハンドルグリップの向き



交換部品: 9. ハンドルグリップ

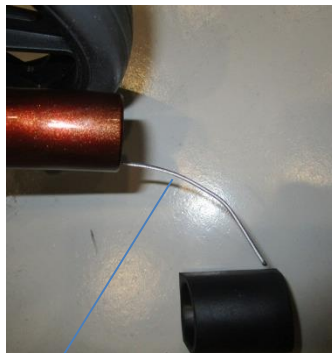


B. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーアウターチューブの交換方法

1) フレームエンドキャップを引き抜き、ブレーキワイヤーを引き出します。



フレームエンドキャップ

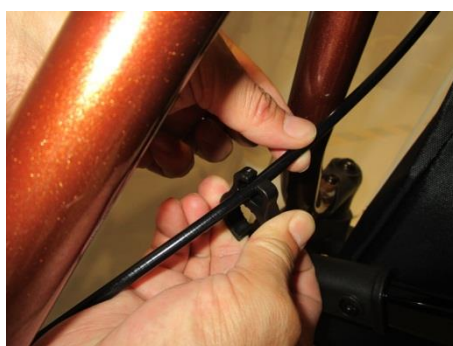


ブレーキワイヤー

2) ブレーキワイヤーガイドを指で押し広げて外します。



ブレーキワイヤーガイド



①各部の交換方法

4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法

B. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーアウターチューブの交換方法

3) ブレーキワイヤー固定ボルトをプラスドライバーでゆるめます。



ブレーキワイヤー固定ボルト

4) ブレーキワイヤーをブレーキ板から引き抜きます。



ブレーキ板

ブレーキワイヤー



5) ブレーキレバーを
ブレーキ基部から引き抜きます。

ブレーキレバー

ブレーキ基部



6) ブレーキ基部キャップをはずし、ブレーキワイヤーをブレーキ基部から引き抜きます。



ブレーキ基部キャップ



ブレーキワイヤー

①各部の交換方法

4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法

B. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーアウターチューブの交換方法

7) プラスドライバーでブレーキ基部固定ボルトをはずし、ハンドルポストからブレーキ基部を取り外します。

ブレーキ基部固定ボルト



ハンドルポスト



プラスドライバー 2番

ブレーキ基部

8) 新しいブレーキ基部をハンドルポストに取り付け、ブレーキ基部固定ボルト、ブレーキ基部固定ナットで仮止めし、プラスドライバーでブレーキ基部固定ボルトを締めつけて固定します。

ハンドルポスト



ブレーキ基部固定ボルト

プラスドライバー 2番

ブレーキ基部



※取付時の各部品の順番



交換部品: 11. ブレーキ基部セット



ブレーキ基部固定ボルト

ブレーキ基部

ブレーキ基部固定ナット

①各部の交換方法

4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法

B. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーアウターチューブの交換方法

9) 新しいブレーキワイヤーをブレーキ基部の上側の孔に挿通し、ブレーキ基部キャップを取りつけます。



ブレーキワイヤー
ブレーキ基部
ブレーキ基部キャップ

交換部品: 12.
ブレーキ基部キャップ



交換部品: 13. ブレーキワイヤー

10) 直径4mm以下の金属棒などを用いて金属軸を押し出し、ブレーキレバーから滑車を取りはずします。

※プラスチックハンマーなどで適宜たたいて押し出してください。



金属棒など
金属軸

※滑車を取り外した状態



滑車(小)

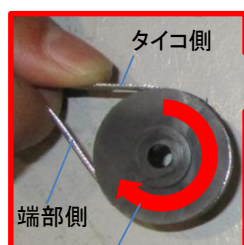
プラスチックハンマー

ブレーキレバー

滑車(大)

金属軸

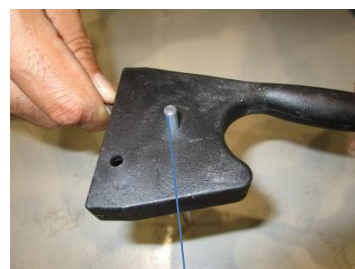
11) 新しい滑車(大)に、4. B. 9)でブレーキ基部に通したブレーキワイヤーを巻き回して新しいブレーキレバーに差しこみ、金属軸で固定します。



ワイヤーの
巻き回し方向



滑車(大) ブレーキレバー



金属軸

交換部品: 10. ブレーキレバーセット



①各部の交換方法

4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法

B. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーアウターチューブの交換方法

12) 金属軸をブレーキレバーとの段差が無くなるまでプラスチックハンマーでたたき込みます。



プラスチックハンマー

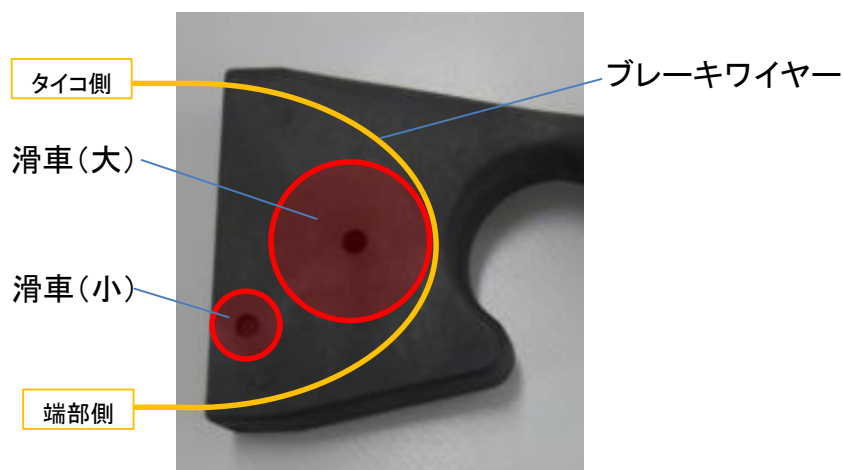
13) 滑車(小)をブレーキレバーに通したブレーキワイヤーの間になるように注意しながら、ブレーキ板に差しこみ、金属軸で固定し、金属軸をブレーキ板との段差が無くなるまでプラスチックハンマーでたたき込みます。



プラスチックハンマー

金属軸

※正しい取付位置



①各部の交換方法

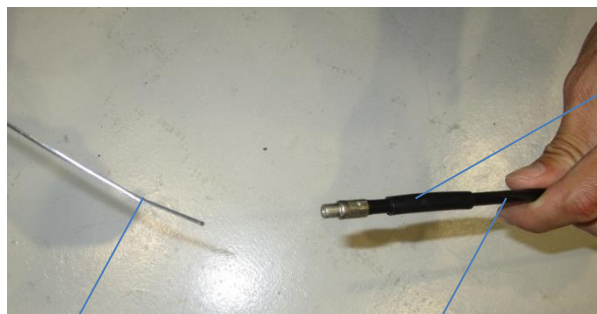
4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法

B. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーアウターチューブの交換方法

14) ブレーキワイヤーをブレーキ基部の下側の孔に挿通し、ブレーキレバーをブレーキ基部に取り付けます。



15) ブレーキワイヤーを新しいブレーキワイヤーアウターチューブに挿通します。
※保護チューブが付いている側から挿通してください。



保護チューブ

ブレーキワイヤー

ブレーキワイヤー
アウターチューブ

保護チューブが付いている側



保護チューブが付いていない側



交換部品: 14. ブレーキワイヤーアウターチューブ



①各部の交換方法

4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法

B. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーアウターチューブの交換方法

16) ブレーキワイヤーを挿通したブレーキワイヤーアウターチューブを新しいブレーキワイヤーガイドに通し、ブレーキワイヤーガイドをフレームに取り付けます。



ブレーキワイヤーガイド

※ブレーキワイヤーアウターチューブは下写真の通り、フレームの内側を通るように取回してください。



交換部品: 17.
ブレーキワイヤーガイド



17) ブレーキワイヤーをブレーキ板に挿通します。



ブレーキ板

ブレーキワイヤー



①各部の交換方法

4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法

B. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーアウターチューブの交換方法

18) ブレーキワイヤーを引っ張り、ブレーキ板とタイヤとの間隔を3mm程度に保ちながら、ブレーキワイヤー固定ボルトをプラスドライバーで締めつけます。



ブレーキワイヤー

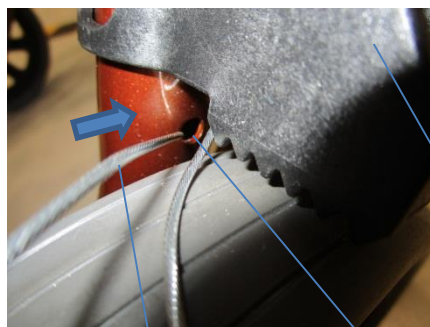


ブレーキワイヤー固定ボルト

プラスドライバー 2番



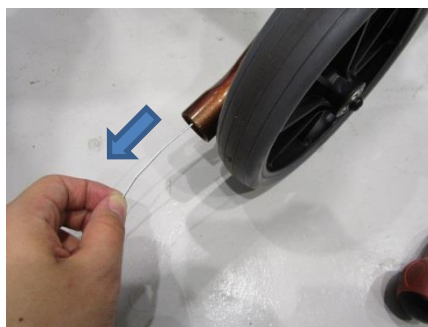
19) ブレーキワイヤーをフレームの孔に通し、フレームの端部から引き出します。



ブレーキワイヤー

フレームの孔

ブレーキ板



20) ブレーキワイヤーを曲げ返して、フレーム内に収めます。



①各部の交換方法

4. ハンドル部・ブレーキ部の交換方法

B. ブレーキワイヤー、ブレーキワイヤーアウターチューブの交換方法

21) 新しいフレームエンドキャップをフレームに差し込みます。



交換部品: 16.
フレームエンドキャップ



- ブレーキレバーがスムーズに動き、ブレーキが効くまで十分に握れることを確認してください。
- ブレーキレバーを引いて、ブレーキ板が左右両輪に均等に、確実に当たっていることを確認してください。
- ブレーキおよび駐車ロックが確実に作動することを確認してください。
- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

5. 反射板の交換方法 (左右前共通)

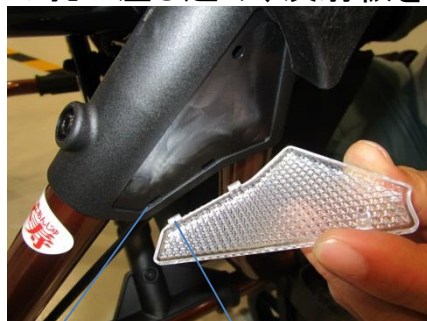
1) マイナスドライバーを反射板と本体との隙間に入れ、反射板を取り外します。



反射板

マイナスドライバー

2) 新しい反射版の爪部を本体の孔に差し込み、反射板をはめ込みます。



孔

爪

孔

爪

交換部品: 20. 反射板(前)



交換部品: 21. 反射板(右)



交換部品: 22. 反射板(左)



①各部の交換方法

6. タイヤ部の交換方法

A. 前輪、前輪フォークの交換方法

- 1) 13mmのソケットレンチと5mmの六角レンチを用いて、前輪固定ナットと前輪固定ボルトをはずし、前輪を前輪フォークから取りはずします。



六角レンチ 5mm
ソケットレンチ 13mm



- 2) 19mmのソケットレンチと8mmの六角レンチを用いて、前輪フォーク固定ナットと前輪フォーク固定ボルトをはずし、前輪フォークを前輪フォーク基部から取りはずします。

六角レンチ 8mm
ソケットレンチ 19mm

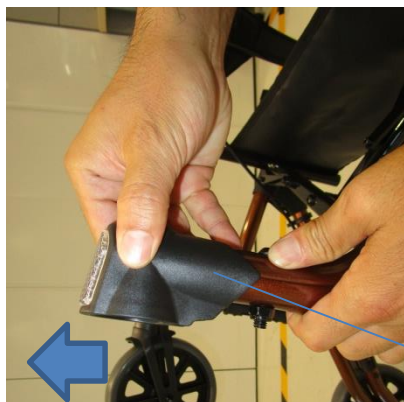


①各部の交換方法

6. タイヤ部の交換方法

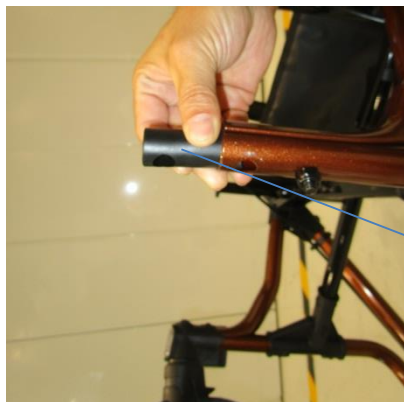
A. 前輪、前輪フォークの交換方法

3) 前輪フォーク基部をフレームから引き抜きます。



前輪フォーク基部

4) 芯材をフレームから引き抜き、新しい芯材を差しこみます。



芯材

交換部品: 6. 前輪フォークセット



5) 新しい前輪フォーク基部をフレームに差しこみます。



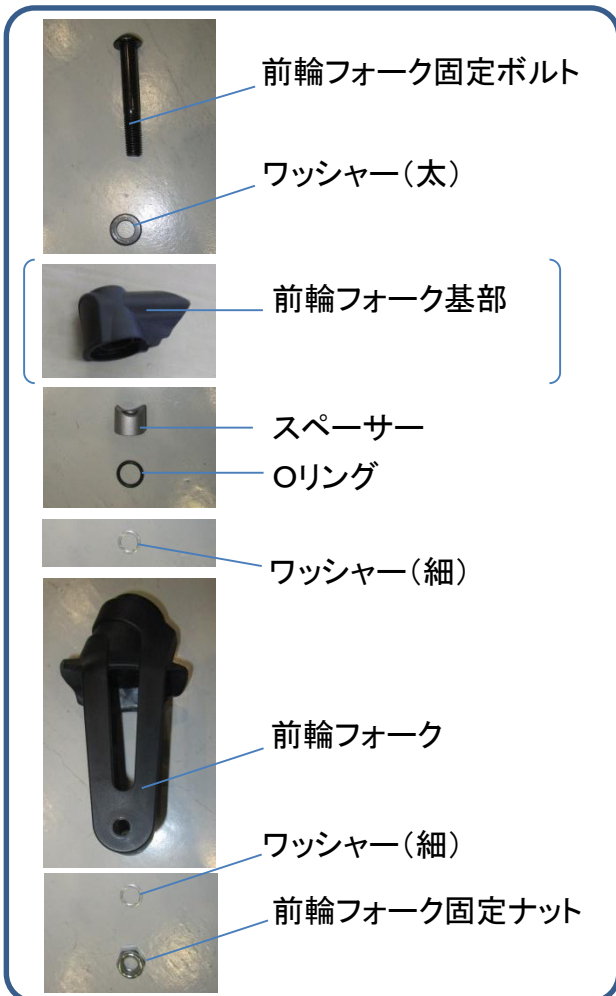
前輪フォーク基部

①各部の交換方法

5. タイヤ部の交換方法

A. 前輪、前輪フォークの交換方法

6) 新しい前輪フォーク基部を前輪フォーク固定ボルト、前輪フォーク固定ナットとその他の部品を、下図の通りに前輪フォーク基部に取り付け、13mmのソケットレンチと5mmの六角レンチを用いてしっかりと固定します。



六角レンチ 8mm
ソケットレンチ 19mm



前輪フォーク固定ナットの締め付けトルクは10N・m(100kgf・cm)です。

交換部品: 1. 前輪セット

7) 13mmのソケットレンチと5mmの六角レンチを用いて、前輪固定ナットと前輪固定ボルトを締めつけ、前輪を前輪フォークに取りつけます。



前輪
フォーク
前輪固定
ボルト



六角レンチ 5mm
ソケットレンチ 13mm

前輪固定ナット
前輪

前輪固定ナットの締め付けトルクは7N・m(70kgf・cm)です。

- 車体を押した時に、違和感なく直進することを確認してください。
- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

①各部の交換方法

6. タイヤ部の交換方法

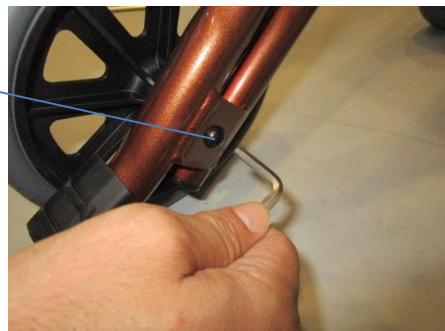
B. 後輪の交換方法

- 1) 5mmの六角レンチ2本を用いて、後輪固定ボルトを緩め、後輪を取りはずします。

六角レンチ 5mm
× 2本



後輪固定ボルト



- 2) 新しい後輪を5mmの六角レンチ2本を用いて、フレームに取り付けます。

※取付部品の順番



後輪固定ボルト(短) ワッシャー 後輪

☞ 後輪固定ボルトの締め付けトルクは9.5N・m(95kgf・cm)です。

後輪固定ボルト(長)

交換部品: 2. 後輪セット

- 車体を押した時に、違和感なく直進することを確認してください。
- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

7. 杖ホルダー部の交換方法

A. 杖ホルダーの交換方法

六角レンチ 5mm

- 1) 5mmの六角レンチを用いて、杖ホルダー固定ボルトとナットをはずし、杖ホルダーを取りはずし、逆の手順で新しい杖ホルダーを取り付けます。

※取付には、新しい杖ホルダーに付属のボルト・ナットを使用してください。

杖ホルダー
固定ボルト

杖ホルダー



交換部品: 6. 杖ホルダーセット



- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

①各部の交換方法

7. 杖ホルダー一部の交換方法

B. 杖固定具の交換方法

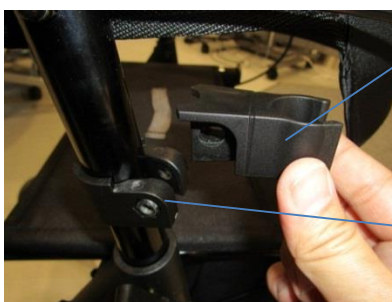
1) 5mmの六角レンチを用いて、杖固定具固定ボルトゆるめ、取り外します。



六角レンチ 5mm

杖固定具
固定ボルト

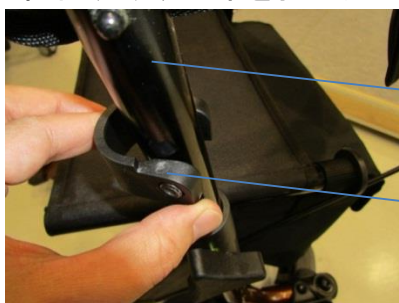
2) 杖固定具の上側の部材を上方にスライドして取り外します。



杖固定具

杖固定具基部

3) 杖固定具基部を押し広げてハンドルポストから取り外します。



ハンドルポスト

杖固定具基部

交換部品: 7. 杖固定具セット



4) 逆の手順で新しい杖固定具を取り付けます。

■各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

8. 高さ調節ノブボルトの交換方法

1) 高さ調節ノブボルトを反時計回りに回して、フレームとハンドルポストから抜き新しい高さ調節ノブボルトと交換します。



高さ調節ノブボルト

交換部品: 15.
高さ調節ノブボルト



②交換後の点検

- ブレーキレバーを引いて、ブレーキ板が左右両輪に均等に、確実に当たっていることを確認してください。
- ブレーキレバーがスムーズに動き、ブレーキが効くまで十分に握れることを確認してください。
- ブレーキおよび駐車ロックが確実に作動することを確認してください。
- 車体を押した時に、違和感なく直進することを確認してください。
- 折りたたみ動作がスムーズに行えることを確認してください。
- 各部のネジ、ボルト、ナットが緩みなく締まっていることを確認してください。

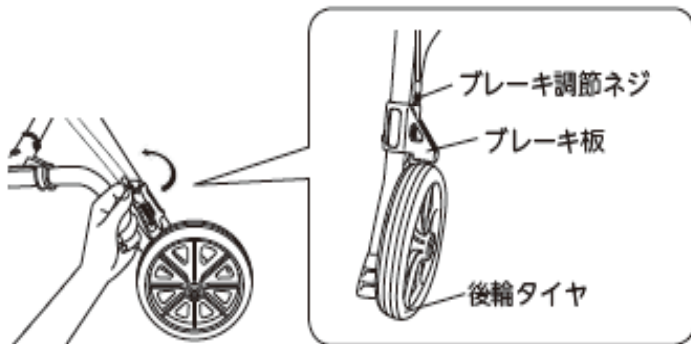
点検方法の詳細などはメンテナンスガイドを参照してください。

③ブレーキの調整

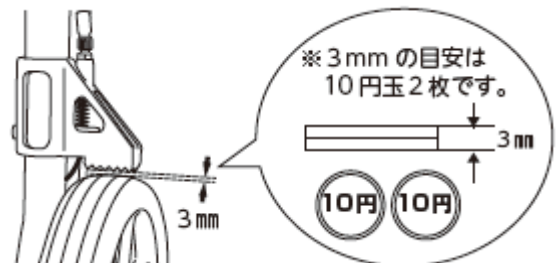
- ① 8mm スパナを使って固定ナットをゆるめます。



- ② ブレーキ調整ネジを反時計回りに回します。



- ③ ブレーキ板とタイヤのすき間が3mmぐらいになるように調整してください。
すき間が小さくなりすぎてしまった場合は、ブレーキ調整ネジを逆方向に回して調整してください。



- ④ 固定ナットをもとの位置まで締め付けてください。

④シールの貼付位置



交換部品:23. ブレーキ操作シール

交換部品24. 指はさみ注意シール

⑤フレームの補修方法

- 1) 塗装面のゴミ、油分、サビなどをよく落とします。
- 2) 塗料が傷以外につかないように、マスキングを施します。
- 3) スプレーで塗装します。

☞ 深い傷には数回重ね塗りをしてください。重ね塗りは塗料が乾いてから行ってください。

☞ 塗装方法の違いや、補修面の変退色により、色が正確に合わない場合があります。

☞ 火気には十分に注意してください。

補修部品:25. 補修ペイント(スプレー)

注意事項

保管について

- 戸外に保管して風雨や直射日光にさらしたままにしないこと
- 火気に近づけないこと、また高温になる場所に保管しないこと
- 荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないこと
- 取扱説明書は本体と一緒に保管すること

お手入れについて

- 車輪に付着した泥や汚れなどはそのままにせず、よく絞った布などで必ず落とすこと
- 次にあげるものではお手入れしないこと
 - ・シンナー
 - ・クレゾール
 - ・塩素系薬剤をかけたの殺菌、消毒
 - ・磨き粉
 - ・塩素系洗剤
 - ・酸、アルカリ性洗剤
 - ・タワシ
 - ・研磨剤入りのスポンジ
 - ・その他製品を傷つけるもの
- オゾンガス、ホルムアルデヒドガスを用いた消毒を行わないこと。
- 注油する場合は、タイヤ、ブレーキ板に油がつかないように注意すること。
タイヤやブレーキ板に付着した油はよく拭き取ってください。

廃棄について

- 廃棄については各自治体の指示にしたがって処分、廃棄すること

●製品の仕様および価格は、予告なく変更する場合があります。

製品に関するご意見・お問い合わせは

お客様相談室

フリーダイヤル  **0120-86-7735**

(受付時間) 祝祭日以外の月～金 9:00～17:00
(12:00～13:00はのぞく)

製造・発売元



アロン化成株式会社

ライフサポート事業部

〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8階

URL <http://www.aronkasei.co.jp/>